

事務事業マネジメントシート(平成30年度実績と平成31年度計画)

令和元年 7月22日更新

事務事業名	阿蘇くまもと空港国際線振興協議会参画事業					<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連	
総合計画体系	政策	6	産業の健康			所属部	総務部	課長名	大茂 竜二
	施策	27	商工業の振興			所属課	企画課	担当者名	野邑 和伸
	施策の柱	72	人材確保と生産・販売力の強化			所属班	企画広報班	(内線)	1255
予算科目	会計一般	款 2	項 1	目 9	事業連番 11491	根拠法令	阿蘇くまもと空港国際線振興協議会会則		
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 30年度で終了 <input type="checkbox"/> 30年度から開始					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 22 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	阿蘇くまもと空港国際線振興協議会に参画する事業。昭和58年より当協議会は、阿蘇くまもと空港に現に就航している国際線の振興を促進するとともに、新規国際線の導入対策を図ることを目的としている。また、当協議会においては、県をあげた取組みを推進し、阿蘇くまもと空港の国際拠点性を一層高めていくために本市としても平成22年度より加入している。
【業務の流れ】	・総会及び幹事会への出席 ・阿蘇くまもと空港国際線振興協議会への負担金の支出
【主な予算費目】	・負担金、補助及び交付金 ※阿蘇くまもと空港国際線振興協議会会則により会員の負担金が必要。
【意見や要望】	

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 30年度実績(30年度に行った主な活動) (DO)	阿蘇くまもと空港と国際定期便の利用促進のため参画負担を行った。	31年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
		阿蘇くまもと空港国際線振興協議会への参画に伴う負担金の支出
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 回	予算の主な増減の理由
→ ア: 会議の参加回数	回	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位)
阿蘇くまもと空港国際線利用者		→ ア: 国際線の運行便数
		便
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位)
当市に興味を持ってもらい、来訪していただく。		→ ア: 国際線の旅客数
		人
*③成果指標設定の理由と31年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
国際線振興を目的とし、国際線旅客数を目標値として設定した。		全体計画
		~ 年度
		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	28年度実績(決算)	29年度実績(決算)	30年度目標(当初予算)	30年度実績(決算)	31年度目標(当初予算)	2年度予定	3年度見込	4年度見込
① 活動指標	ア	回	0	1	1	1	1	1	1	1
	イ									
② 対象指標	ア	便	229	336	400	586	400	400	400	400
	イ									
③ 成果指標	ア	人	23,929	80,142	70,000	160,168	130,000	130,000	130,000	130,000
	イ									
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円	50	50	50	50	50	50	50
		(A) 事業費計	千円	50	50	50	50	50	50	0
		(A)のうち指定経費	千円	50	50	50	50	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	4	1	1	0	0	0	0
	延べ業務時間	時間	40	15	15	0	0	0	0	
	(B) 人件費計	千円	0	59	59	0	0	0	0	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	50	109	109	50	50	50	50	

事務事業名	阿蘇くまもと空港国際線振興協議会参画事業	所属部	総務部	所属課	企画課
-------	----------------------	-----	-----	-----	-----

## 2 評価の部 (CHECK)

\*原則は30年度の事後評価、ただし複数年度事業は30年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①30年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 【前年度内容】熊本～香港線の定期便の就航実現、韓国観光公社と連携した助成事業や教育旅行支援などにより目標を達成することができた。
	②31年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 【前年度内容】熊本～香港線、熊本～ソウル線、熊本～高雄線の利用促進に関連した事業を実施し、更なるPR活動を行う。
有効性評価	③成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 修学旅行等中長期的な需要の掘り起こしやLCCの就航に伴い、新たな来客者の増加を期待でき、重点的に取り組むことにより、向上の余地あり。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業はない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 事業遂行のための最小限の予算であるため削減の余地はない。
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 最小限の事務で行っているため削減の余地はない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 一部の受益者を対象とした取り組みではないので公平性は保たれている。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 阿蘇くまもと空港国際線振興協議会は県内自治体及び経済団体等で構成されており、連携し一体となって活動していることから行政が役割を担うものである。

## 3 評価結果の総括 (CHECK)

阿蘇くまもと空港の国際線振興をはじめ、本市の観光振興という意味合いも含め、県を中心とした広域行政の取り組みとして積極的に参画していきたい。

## 4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						